

京都市立八瀬小学校 学校教育目標

郷土の伝統と文化を受け継ぎ、自らの未来を切り拓く力を身につけ、国際社会への貢献に向かう子どもの育成

「郷土の伝統と文化を受け継ぎ」

～八瀬に育つ子としてのアイデンティティーの確立～

- ・「八瀬で学ぶ・八瀬から学ぶ」学習を実践する。
- ・八瀬の伝統文化(葵祭り、赦免地踊、灯籠)を学び、参加する。
- ・八瀬の地域体験(田植え・稻かり・野菜作り等)を体験し、楽しむ。
- ・地域行事等に参加する。

「自らの未来を切り拓く力を身につけ」

- ・「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の調和のとれた育成をはかる。
- ・情報化社会を生きるために求められる力を獲得する。

「国際社会への貢献に向かう」

- ・生き方探求(キャリア)教育の推進をはかる。
- ・グローバル化社会に生きるために求められる力を獲得する。

目指すこども像

- 自分のことは自分でしようとする子
- 自ら学び、主体的に判断し、行動しようとする子
- 見通しをもち、創意工夫しようとする子
- 主体的に社会と関わりながら豊かな人間性を育み、人を大切にしようとする子
- 多様な遊びや運動に親しみ、体力の向上に挑み続ける子
- 自分の体を正しく理解し、健康を意識した生活を送ろうとする子

目指す教職員像

- 子どもの幸福や自立を願い、愛情を持って関わる教職員
- 学び続け、挑み続ける教職員
- 共に学び、協力し合う教職員
- 子ども一人ひとりの課題に対して支援を行うことのできる教職員
- S C・S S W等の専門スタッフ、地域・保護者との連携・協働を進めることのできる教職員
- 「真のワーク・ライフ・バランス」の視点を持って校務を遂行しようとする教職員

目指す学校像

- 子どもの命を守りきる学校
- 子どもたちに確かな学力と社会性・豊かな人間性を育む学校
- 子どもたちの健康の保持増進と体力の向上を推進する学校
- 音楽あふれる学校
- 小小、小中など、校種間連携を推進する学校
- 地域・保護者と教育の目標を共有し、それぞれと連携・協働しながら子どもへの教育を進める学校。
- 多様な情報を、広く発信する学校

「確かな学力」

- * 意欲的に学ぶ集団づくり
- * 「学校での学びと社会とのつながり」や「わかる喜びと楽しさ」を実感できる授業
- * 実感を伴い理解された基礎的・基本的な知識・技能
- * I C T機器を効果的に活用できる学習活動
- * 自ら課題や疑問点を設定し、調べ、解決する過程を大切にした探究活動
- * 主題的・対話的に問題解決を図多様な学習形態
- * 「プログラミング的思考」の育成
- * 話す必然性に基づいた言語活動の充実と表現力の育成
- * 「学習・情報センター」「読書センター」としての学校図書館の活用
- * 八瀬や京都の素晴らしさや自らの考えを世界に発信できる英語力の育成
- * ジェスチャーなど言葉によらない非言語的なコミュニケーションの活用
- * I C T等個別に有効な教材使用や指導方法の工夫
- * 個々の子どもの課題に応じた支援の充実

「豊かな心」

- * 問題解決的な学習や体験的な学習を取り入れた道徳の時間の充実
- * 伝統文化を生み出し、守ってきた人々の長い歴史とそのすぐれた知恵や技を受け継ぐことの大切さや、子ども自らも伝統と文化を受け継いでいく担い手であることを実感できる取組の充実
- * 八瀬・京都・日本のよさを自らの言葉や行動で伝えながら、様々な外国の文化や歴史を尊重する多文化理解や国際協調・国際貢献の精神
- * 笑顔でいさつをする(望ましい人間関係の構築)
- * いじめを許さない(子ども同士が正義感を持って指摘し合える風土)
- * 約束やきまりを守る(薬物乱用・情報モラルも含め)
- * 違いを認め合い、お互いを尊重する(自分も人も大切にできる子)
- * 高学年はリーダーシップを發揮し、低学年は高学年を尊敬する(力を合わせてがんばる子)
- * グループのきまりや約束を守り、協力する子(集団への帰属意識)

「健やかな体」

- * 『楽しい体育』の実践
- * ランニングの取組の推進
- * 放課後外遊びの推奨
- * 基本的生活習慣の励行(早寝・早起き・朝ごはん)
- * 性についての正しい理解と適切な行動
- * 飲酒・喫煙・薬物についての正しい知識の獲得
- * 望ましい食習慣と栄養バランスを考えた食事についての理解
- * 食物アレルギーについての正しい理解
- * 「生活安全」「交通安全」「災害安全」の3領域の安全指導計画の実践
- * 危険に対して、自らの命を守り抜くための『主体的に行動する態度』の育成